

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10月 14日

派遣者氏名（専門分野）	多賀 良寛	（ 東洋史学 ）
-------------	-------	----------

派遣期間	2012年 9月 9日 ～ 2012年 9月 19日
------	----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾	台北	中央研究院（史語所傅斯年図書館・郭廷以図書館）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

派遣者は本プログラムによる台湾滞在中に、中央研究院の史語所傅斯年図書館 および近代史研究所 郭廷以図書館 で文献史料の調査を行った。そこで以下、両図書館の利用方法と所蔵する檔案史料（明清時代の行政文書）について簡単に紹介を行う。

史語所傅斯年図書館 は中央研究院内の人文大道に面しており、歴史語言研究所の斜め向かいに位置する。開館時間は平日の8:30~17:00である。入館に際しては、リュックサック等の荷物をロッカーに預け、パスポートを提示して記帳を行う必要があるが、紹介状等は求められない。ダイヤル式のロッカーは自分で番号を設定するタイプなので、選んだ4桁の番号は必ず覚えておかなければならない。傅斯年図書館 には内閣大庫の檔案史料が所蔵されており、カウンターの職員に声をかければ、一階にあるパソコンから画像ファイルを閲覧することができる。内閣大庫の檔案史料は部分的に『明清史料』などのシリーズで公刊されているため、公刊済みの史料に関しては検索画面でその旨が表示される。ただしまだ公刊されていない史料も大量に存在するため、図書館に足を運ぶ価値は十分にあると言えよう。閲覧用のパソコンは全部で2台あり、館内のプリンターから印刷も行える。館内に開架されている書籍に関しては、自由にコピーをとることができる。コピーカードはカウンターで購入し（カードは100,200,300元の三種類）、一階にあるコピースペースでコピーを行う。館内は飲食ができないので、昼食等は建物外で取らなければならない。

近代史研究所 郭廷以図書館は、人文大道に面する近代史研究所のすぐ裏に位置している。傅斯年図書館 の場合と同じく、入館にはパスポートの提示と記帳が求められるが、紹介状などは必要ない。手荷物をロッカーに預ける手順も同様である。郭廷以図書館には、中央研究院が北京の第一歴史答案館から購入した宮中朱批奏摺・財政貨幣金融類が保蔵されている。もともとはマイクロフィルムの史料だが、郭廷以図書館のものは紙媒体で製本されているため、閲覧に便利である。宮中朱批奏摺の配架場所は図書館のC棟となっており、本館ではなく別館に所蔵されている。別館に配置されている資料を閲覧したい場合、カウンターで申請用紙に記入すれば、係員が10分ほどで資料を運んできてくれる。ただし宮中朱批奏摺の場合は、申請用紙に記入した後別館まで案内され、別館の閲覧室で史料を閲覧することになる。閲覧室にはコピー機が設置してあるので、自由にコピーを取ることができる。ただしコピーカードは事前に 傅斯年図書館 で購入しておかねばならない。なお 郭廷以図書館内の無線LANからインターネットにアクセスすれば、CNKI等の論文検索サービスを無料で使用することが可能である。

なお中央研究院活動中心内にある書店では、中央研究院の出版物を割引価格で購入することができる。店内には『明清史料』をはじめ檔案関係の資料集も揃っており、一度足を運ぶことをおすすめする。

